

島根朋史

Tomofumi SHIMANE
Cello Recital - Return & Debut
at Tokyo Bunka Kaikan - Recital Hall

帰国 デビュー チェロ・リサイタル

～バロックからロマン派の、移り変わるフランス音楽の色合い～

2017年 12月 27日 (水) 19:00 開演 / 18:30 開場

於 東京文化会館 小ホール

プログラム - Program (全曲、オリジナル設定の楽器を使用)

C. サン=サーンス: チェロとピアノのためのソナタ 第2番 へ長調 作品 123
C. Saint-Saëns : Sonata for Cello & Piano No.2 F-major Op.123

G. オンスロウ: チェロとピアノのためのソナタ 第1番 へ長調 作品 16-1
G. Onslow : Sonata for Cello & Piano No.1 F-major Op.16-1

J.B. バリエール: チェロと通奏低音のためのソナタ
J.B. Barrière : Sonata for Cello & Basso continuo

D.de セヴラック: ロマンティックな歌 へ長調
D.de Séverac : Lied Romantique C-major for Cello & Piano

G. フォーレ: ロマンズ へ長調 作品 69
G. Fauré : Romance A-major Op.69 for Cello & Piano



Fortepiano 川口成彦
Naruhiko KAWAGUCHI



Baroque Cello 野津真亮
Shinsuke NOTSU

全席自由 前売 一般 ¥3,500 / 学生 ¥2,500
当日 一般 ¥4,000 / 学生 ¥3,000

チケットお取り扱い:

(株) インターミュージック・トーキョウ TEL 03-3475-6870
東京文化会館チケットサービス TEL 03-5685-0650

マネジメント: (株) インターミュージック・トーキョウ
後援: 一般社団法人 日本弦楽指導者協会
古楽オーケストラ La Musica Collana
弦楽アンサンブル TGS
エラーールピアノ協力・調律: 名取孝浩

ガット弦を張った、18～19世紀設定のチェロ

× 仏 エラール社 1890年製のフォルテピアノ

楽譜が書かれた当時のオリジナル性、想定された当時の奏法、作曲家の込めた思いを追求する三刀流チェリスト 島根朋史が送る、パリ留学を終えての帰国 デビュー チェロ・リサイタル。共演には、東京藝術大学からの盟友であり、フォルテピアノ界の期待の星 川口成彦と、同じく東京藝術大学からの盟友であるバロックチェロ奏者の野津真亮を迎え、ガット弦特有の甘くノスタルジーを感じさせるハーモニーを紡ぎ出す。プログラムはバロック時代後期に活躍したフランスのチェロ奏者バリエールの作品を筆頭に、日本ではあまり知られていないフランス古典派の大家オンスロウのソナタ。そして、フランス・ロマン派の小品を経て、サン＝サーンスのソナタへ。フランス革命前から第一次世界大戦開戦前までのフランスの彩り。その移り変わりを弾き分ける！乞うご期待！

島根朋史 / Tomofumi SHIMANE



1989年、東京都豊島区出身。すべての活動に於いてオール・ガット弦の楽器、それぞれの時代にあった楽弓を使用し、17世紀の作品から21世紀に至るまでの作品を演奏するバロック・古典・現代の三刀流チェロ奏者、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者、また編曲家。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学、同大学院修士課程をチェロ専攻で卒業。パリ7区

エリック・サティ音楽院にてバロックチェロ科/ヴィオラ・ダ・ガンバ科を2017年6月修了。

現在、東京藝術大学大学院博士課程に在籍し、18～19世紀に生きた演奏家たちの読譜と奏法についての研究を進めている。

東京藝術大学にて、奏楽堂モーニング・コンサートのソリストとしてドヴォルザークのチェロ協奏曲を藝大フィルハーモニアと共演。また、東京藝術大学にて同声会賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。他、関西弦楽コンクール優秀賞・審査員賞、江戸川区新人演奏会オーディショングランプリ等、受賞歴多数。

フランスでは Concert Jeunes Talents (若い才能のためのコンサート)の企画に抜擢され、フランス歴史美術館にてバロックチェロによるソロリサイタルを開催する他、ヴェルサイユ王室礼拝堂やオラトワール・デュ・ルーブル、シャルトルなど各地の教会、また美術館等でのコンサートにソリスト・室内楽奏者、通奏低音奏者として多数出演。

バロックチェロを Anner Bylisma, Emmanuel Balssa, 鈴木秀美の各氏に、チェロ(モダン)を Philippe Muller, Xavier Gagnepain, 河野文昭, 上森祥平, 寺田義彦の各氏、ヴィオラ・ダ・ガンバを Christine Plubeau, 福沢宏の各氏に師事。また、古楽アンサンブルを、Sebastien Marq, Elisabeth Joye, Helene d'Yvoire, 若松夏美の各氏に師事。

古楽オーケストラ《La Musica Collana》首席チェロ奏者。

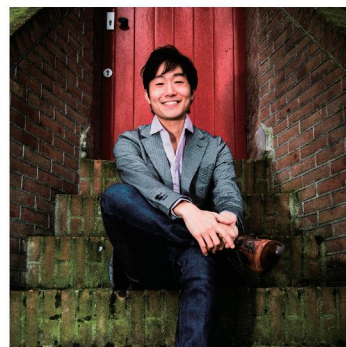
弦楽アンサンブル《TGS》首席メンバー・実行委員。

チェロカルテット《Casty》1st チェロ奏者・編曲担当。

日本弦楽指導者協会 正会員。

公式サイト：<http://tomofumi0shimane.web.fc2.com/>

川口成彦 / Naruhiko KAWAGUCHI



1989年、神奈川県横浜市出身。2016年にブルージュ国際古楽コンクールのフォルテピアノ部門最高位に輝いた他、第1回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール優勝、第27回国際古楽コンクール〈山梨〉入賞など数多く受賞。

第79回フィレンツェ五月音楽祭、モンテヴェルディ音楽祭2017

(クレモナ)、ユトレヒト古楽音楽祭をはじめ国内外の音楽祭にも出演。

モダンピアノの演奏では2016年にアメリカにて名手ニコラス・ダニエルやサクストン・ローズと共に、プーランクの『オーボエ、バスンとピアノのための三重奏曲』の最終稿を世界初演を行っている。

東京藝術大学音楽学部楽理科を経て、同大学大学院修士課程古楽科を大学院アカンサス賞を受賞して首席修了。アムステルダム音楽院古楽科修士課程を首席修了。2016年度明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生。

CDは、ドゥシークの作品集(BRILLIANT CLASSICS、オランダ)に続いて、シューベルトの作品集(Fuga Libera、ベルギー)が2017年にリリースされる。

公式サイト：<https://naru-fortepiano.jimdo.com/>

野津真亮 / Shinsuke NOTSU



1985年、鳥根県松江市出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科卒業。卒業後、非常勤講師、嘱託演奏員として勤める傍ら、同大学音楽研究所バツハ演奏研究部門において通奏低音を学び、その後、東京藝術大学大学院古楽科修士課程修了。

これまでに、チェロを喜久里誼、藤森亮一、鈴木秀美各氏に師事。また、フィリップ・ミュレル、アンナー・ビルスマ各氏の指導を受ける。

現在は主に室内楽、オーケストラ奏者として様々な演奏会に出演。

東京文化会館 アクセス情報

住所：〒110-0007 東京都台東区上野公園 5-45

- ・ JR 上野駅 公園口 より 徒歩1分
- ・ 東京メトロ上野駅 7番出口 より 徒歩5分
- ・ 京成上野駅 正面口 より 徒歩6分

